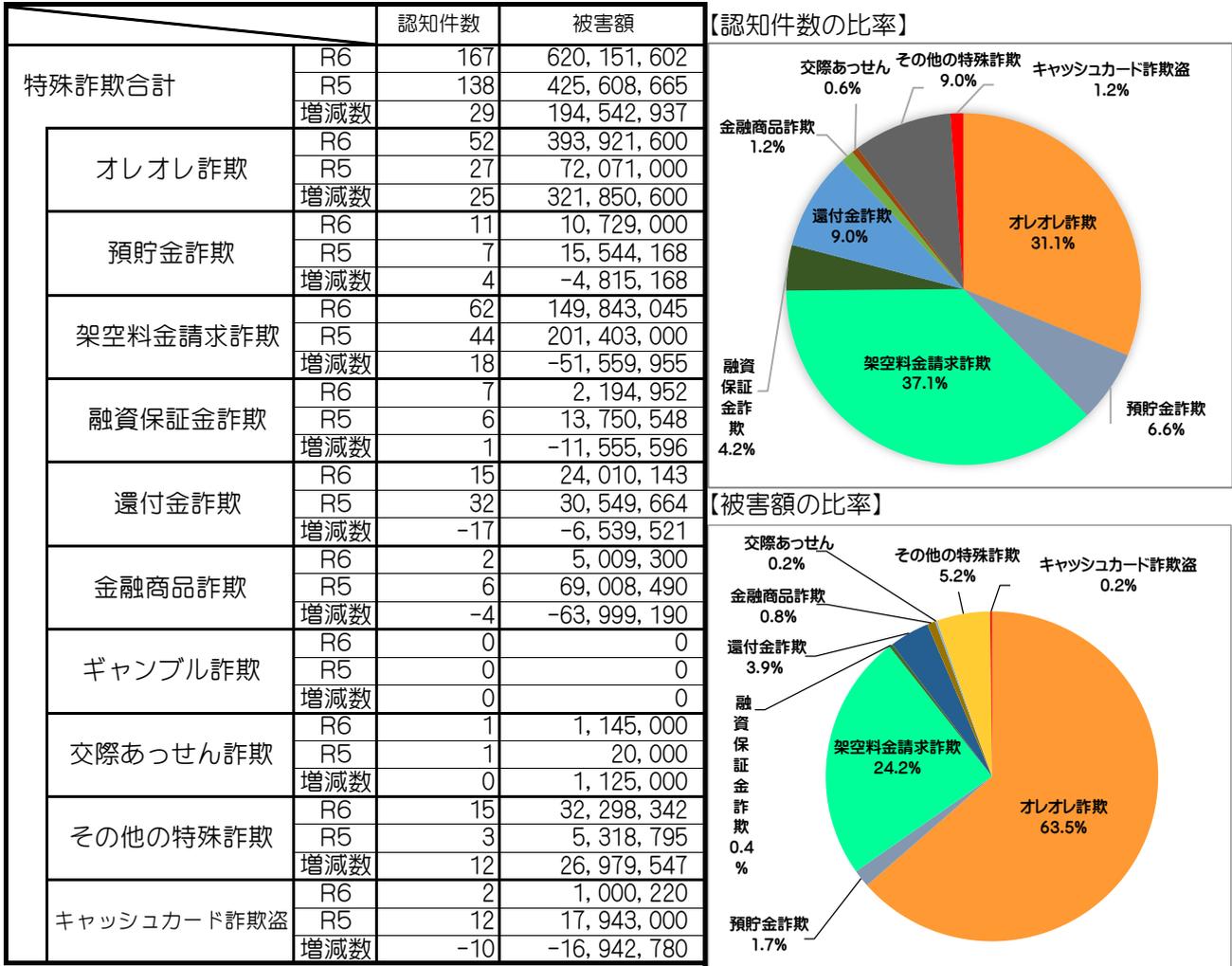


特殊詐欺対策ニュース

令和6年12月
警察本部生活安全企画課

特殊詐欺認知状況（令和6年11月末）※暫定値

1 特殊詐欺の認知件数・被害額の状況



2 11月中に認知した主な事件

(1) 金融庁職員をかたる預貯金詐欺

被害者（札幌市西区在住、80代女性）の自宅固定電話に、「金融庁職員」をかたる男から「あなたのカードで外国人が時計を購入し、逮捕されています。」「情報が漏れているので、口座をすべて凍結してキャッシュカードを再発行する必要があります。」「うちの職員が取りに行きます。キャッシュカードを封筒に入れて用意して下さい。」等と電話があり、後刻、被害者宅を訪れた男に指示されるがまま、用意していた封筒入りのキャッシュカードを手交し、同キャッシュカードを使用され口座から約540万円を引き出されてだまし取られた。更に、再度「金融庁職員」をかたる男から電話があり、「家に現金を置いておくと危ないです。金融庁で保証できるので預かります。」「うちの職員が行きます。」などと言われ、被害者宅を訪れた男に現金180万円を手交してだまし取られた。

(2) 厚生労働省職員、警察官、検事をかたるオレオレ詐欺

被害者（札幌市北区居住、70代男性）の自宅固定電話に、「厚生労働省職員」をかたる男から「睡眠薬を大量購入しているか。」等と電話があり、そのまま仙台特捜部の警察官をかたる男に電話が転送となり、「あなたから口座を買った犯人が捕まっている。」「あなたのことは信用しますが、取り調べをしなければならぬ。」等と言われた。その翌日、検事をかたる男から電話があり「あなたの財産を差し押さえなければならぬ。」「調書を作るので正直に話してください。」などと言われ、更に、画面共有アプリで偽の逮捕状を見せられたことで犯人の話信じ込んでしまい、指示されるがままに複数回振込を行い、合計約3,500万円をだまし取られた。

○令和6年11月末における特殊詐欺の認知件数は167件（R5年11月末:138件）で前年に比べ29件増加し、被害金額は約6億2,000万円（R5年11月末:約4億2,500万円）で前年に比べ約1億9,500万円増加しました。
 ○特殊詐欺被害者の年齢層は、高齢者（65歳以上）の割合が約41.9%（令和5年:約71.2%、令和4年:約83.2%）となっており、高齢者の方より現役世代の方の被害が多い傾向にあります。
 ○先月もお知らせしましたが、11月中においても、総務省や厚生労働省をかたる自動音声ガイダンスから偽の警察官をかたる者に電話が繋がって現金をだまし取られる手口が多発しています。また、SNSやインターネット上の「簡単に儲かる」などの広告にアクセスすることで副業を紹介され、登録料や副業タスクの失敗による違約金等の名目で現金をだまし取られる架空料金請求詐欺の手口も多発しています。
 警察官がテレビ電話で連絡を取ったり、お金を請求することは絶対にありません。また、SNSやインターネット上で知り合った見知らぬ者から現金を請求されたときには、一人で判断して送金などせずに、家族や警察に相談して下さい。

SNS型投資・ロマンス詐欺対策ニュース

令和6年12月

警察本部生活安全企画課



SNS型投資・ロマンス詐欺が急増中!

1 SNS型投資・ロマンス詐欺の認知状況（11月末）

種別	認知件数	被害額
<u>SNS型投資詐欺</u>	82件	約16億円
<u>SNS型ロマンス詐欺</u>	63件	約6億1,000万円
合計	145件	約22億1,000万円

※ SNS型投資詐欺～SNS等を通じて、投資名目で金銭等をだまし取るもの。

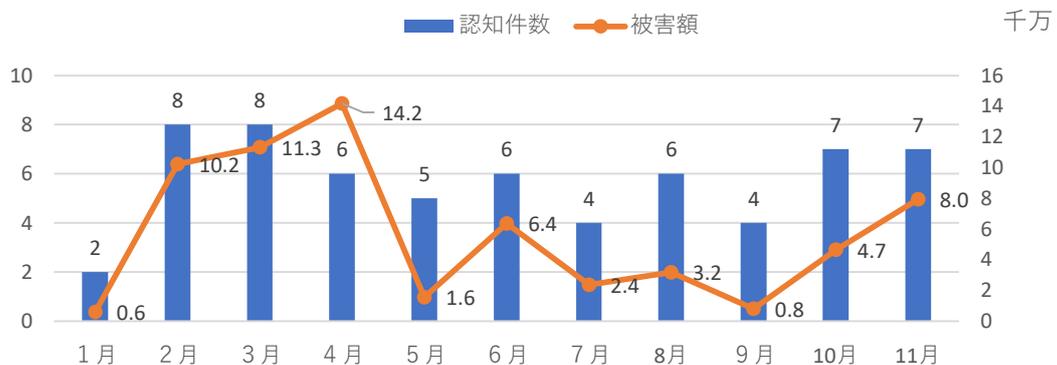
SNS型ロマンス詐欺～SNS等を通じて、恋愛感情や親近感を抱かせて金銭等をだまし取るもの。

2 被害発生状況の推移

SNS型投資詐欺



SNS型ロマンス詐欺



<h3>3 11月中に認知した主な事件</h3>
<p>(1) SNS型投資詐欺</p>
<p>被害者（札幌市白石区居住、30代男性）は、SNS上で個人投資家を名乗る男にメッセージ送信したところ、投資会社が主催する投資の勉強を行うSNSグループに誘導され、同グループメンバーから「先生の指導で投資が成功した。」などとメッセージが届いたことで投資することを決意した。グループ内のサポート担当者に連絡したところ、偽のFX投資サイトに誘導され、相手の指示に従って指定口座に現金を振り込むと、偽のサイト上で資産が増えたような表示がなされたことで、更に信じ込んだ被害者はその後、指示されるがままに複数回の振込を行い合計約4,500万円をだまし取られた。</p>
<p>(2) SNS型ロマンス詐欺</p>
<p>被害者（札幌市白石区居住、50代女性）は、SNSでソウル居住の韓国人男性を名乗る者（以下「犯人」と記載）からメッセージが届いたことで、犯人とのやり取りが始まり、メッセージを交わすうちに交際関係へと発展した。</p> <p>その後、犯人から「2人の生活のために暗号資産をやろう」などと、暗号資産投資を持ちかけられて暗号資産を購入し、払戻し手数料名目などにより、犯人から指定された暗号資産アドレスに対し、合計約3,300万円相当の暗号資産を送金してだまし取られた。</p>
<h3>4 被害防止のポイント</h3>
<p>(1) ネットやSNSには、投資の詐欺広告が多数存在します。</p> <p>投資詐欺は、そのような広告を端緒に、LINE、Facebook、Instagram、Xなどの各種SNS、マッチングアプリなどで知り合った者からLINEなどのSNSグループチャットに招待されます。</p> <p>SNSには、投資関連の詐欺グループチャットが多数存在しますので、見知らぬ者から投資を勧められた際には詐欺の可能性が高いです。</p> <p>(2) 被害に遭っている方のうち、複数回の振込みでは、毎回違う口座（個人名義や法人名義）を犯人から指定されています。</p> <p>投資で<u>個人口座への振込</u>や<u>毎回違う口座へ振込</u>は詐欺と考え、警察に相談してください！</p> <p>(3) 被害防止のための着眼点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① <u>SNSやウェブサイトには、著名人をかたる投資の詐欺広告があります！</u> ② <u>振込先に個人名義の口座を指定されたときには詐欺の可能性が高いです。また、法人名義の口座についても、当該法人が金融庁の登録業者であるか否かを確認しましょう。</u> ③ <u>「投資で絶対に儲かる」などうまい話はありません！</u> ④ <u>SNS等で知り合った者から投資を勧められたときは、相手の話を鵜呑みにせず、まずは「警察相談専用電話#9110」に相談を！</u>